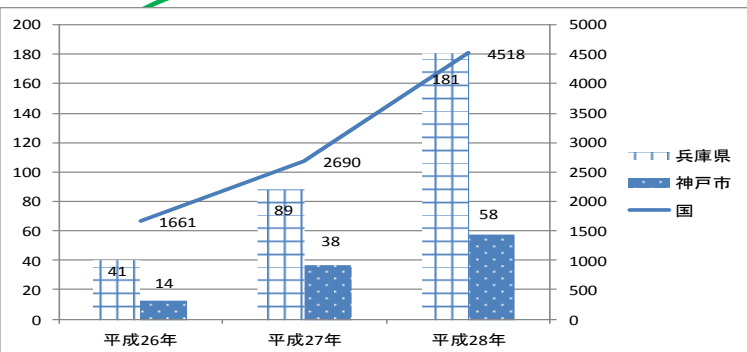
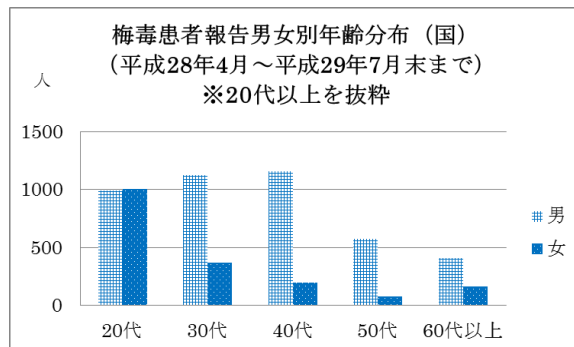


梅毒患者の報告が20~30代を中心に急増しています



梅毒患者の報告が全国で、
また神戸市でも急増しています。
若い女性での報告の増加が目立ち、
今後先天梅毒の赤ちゃんの出生増加が
懸念されます！！



梅毒とは

梅毒トレポネーマにより引き起こされる全身性の疾患です。
ペニシリンなどの抗生物質が有効ですが、治療しないと症状は
進行して、最終的には死に至ることもあります。

また、妊娠が梅毒に感染していると、

胎盤を通して胎児に感染し、死産、早産、新生児死亡、奇形が起こることがあります。…(先天梅毒)

★ **感染経路** 感染部位と粘膜や皮膚の直接接触 (**性的接触**) により感染します。

具体的には、性器と性器、性器と肛門、性器と口の接触が原因となります。

★ **症 状** 感染後、経過した期間によって症状が異なります。

梅毒は経過の中で症状が消失する時期がありますが、治ったのではなく、症状は進行していきます。

【感染後約3週間】

性器や口唇などの感染部位にしこりが生じ、股の付け根の部分（鼠径部）のリンパ節が腫れることがあります。

【感染後数か月】

「バラ疹」と呼ばれる全身性発疹や、全身のリンパ節が腫れるほか、発熱、倦怠感、関節痛などの症状がみられることがあります。

【感染後数年～数十年】

皮膚や筋肉、骨などに腫瘍（ゴム腫）が生じたり、脳、脊髄、血管が侵され死に至ることがあります。

感染を予防するために

コンドームを正しく使用することが重要です。

ただしコンドームで覆わない部分の皮膚や粘膜に梅毒の症状があると、
コンドームでは予防できない場合があります。

また、治療をして治っても、適切に予防策を取らなければ再び感染します。

神戸市の検査について

梅毒は感染当初検査に反応しない時期があります。正しい検査結果を得るため、感染が心配な出来事から2ヶ月後以降に検査を受けましょう。

三宮センタープラザ西館6階会議室（毎週水曜日 18時～20時）にて

梅毒の無料・匿名検査（予約不要）を実施しています。（結果説明は1週間後）

<http://www.city.kobe.lg.jp/life/health/infection/aids/aidsyakan.html>

すでに皮膚や粘膜にしこりやただれがある場合には、性的接触を控え医療機関（皮膚科、感染症内科、泌尿器科、婦人科等）を受診しましょう。